

地域公共交通確保維持改善事業に係る計画認定申請
（令和 7 補助年度 地域内フィーダー系統確保維持計
画認定申請）について

国土交通大臣 殿

氏名又は名称 石狩市地域公共交通活性化協議会
住 所 石狩市花川北 6 条 1 丁目 30 番地 2
代表者氏名 会 長 小 島 郁 也

地域公共交通計画認定申請書

地域公共交通計画のうち、地域公共交通確保維持事業に係る計画を別紙のとおり定めたので、関係書類を添えて申請します。

※本申請書に、記載すべき事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること。

令和6年6月6日

(名称) 石狩市地域公共交通活性化協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

石狩市浜益区内を運行する公共交通の利用者は、区内の人口減少などを契機として減少の一途を辿っており、北海道中央バスの札幌浜益線（定期定路線）は浜益区の区間が不採算路線となり、平成28年3月をもって廃止となった。

また、石狩市全体の高齢化率が34.0%（令和6年4月現在）であるのに対し、浜益区の高齢化は57.0%（令和6年4月現在）と高齢化が著しく進行している様子が見受けられ、高齢社会における地域住民の生活交通の確保が重要である。

このようなことから、事業採算性を意識しながら高齢者等の交通弱者の「生活の足」を確保するための、利便性が高く、将来に亘って持続可能な公共交通体系を構築する必要がある。

そのため、石狩市浜益区における高齢社会や住民ニーズに即し、かつバス交通に関する財政負担の軽減のため、浜益区内全域を網羅するとともに、幹線バス（北海道中央バス・沿岸バス）との接続を目的とした、持続可能な公共交通体系を平成28年4月より導入し、区民の生活利便性の向上を図ることを目的とする。

平成30年4月28日より道の駅石狩「あいろーど厚田」が北海道中央バスの札幌厚田線の結節点となったことにより、待合施設の充実が図られ、利用者の利便性の向上に寄与している。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

地域公共交通確保維持改善事業の実施に当たり、以下の目標を設定する。

【目標】 浜益厚田間乗合自動車運行事業の年間利用者数

令和7年度(令和6年10月～令和7年9月) 2,110人

令和5年度補助年度(令和4年10月～令和5年9月)実績1,919名の10%増
(各系統の稼働率実績に合わせて調整率を設定し計算)

(2) 事業の効果
<ul style="list-style-type: none"> ・石狩市浜益区における公共交通を維持することにより、高齢者等の交通弱者の買い物・通院等の生活や小中学生の部活動等に係る移動を確保することができる。 ・地域間幹線系統との接続により、広域的な移動を支援することができる。
3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体
<p>事業名：浜益厚田間乗合自動車運行事業 実施主体：石狩市</p> <p>引き続き、利用実績の把握、分析により、実態や利用者ニーズに合わせた運行系統エリアの見直し、ダイヤ改正等の検討を行う。</p>
4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者
地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額
<p>事業名：浜益厚田間乗合自動車運行事業 負担額：8,061,900円(令和6年度)</p>
6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法
浜益厚田間乗合自動車運行事業の年間利用者数について浜益支所における収納調書及び委託事業者からの運転日報により測定及び評価を行う。
7. 別表1の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
※該当なし
8. 別表1の補助対象事業の基準ニに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
※該当なし
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
※該当なし

10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】
地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表5」を添付
11. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
① 車両の代替による費用削減等の内容 ※該当なし
② 代替車両を活用した利用促進策 ※該当なし
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果

※該当なし

17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

18. 協議会の開催状況と主な議論

○令和5年6月6日（火曜日）

令和5年度第1回石狩市地域公共交通活性化協議会

1. オンデマンド交通実証運行について
2. (仮称)シン・公共交通計画（イシカリモビリティ2030）について
3. 地域公共交通確保維持改善事業に係る計画認定申請（令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請）について

○令和5年8月3日（木曜日）

令和5年度第2回石狩市地域公共交通活性化協議会

1. オンデマンド交通実証運行について

○令和5年10月20日（金曜日）

令和5年度第3回石狩市地域公共交通活性化協議会

1. (仮称)シン・公共交通計画（石狩モビリティ2030）について

○令和5年12月27日（水曜日）から令和6年1月12日（金曜日）まで（書面協議）

令和5年度第4回石狩市地域公共交通活性化協議会

1. 地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について
2. オンデマンド交通「いつモ」の実証運行について

○令和6年2月9日（金曜日）

令和5年度第5回石狩市地域公共交通活性化協議会

1. (仮称)シン・石狩市地域公共交通計画（イシカリモビリティ2030）について
2. オンデマンド交通実証運行について
3. 公共交通支援事業補助金について
4. 特定非営利活動法人「あつたライフサポートの会」の公共交通空白地有償運送の更新登録の申請について
5. 浜益スクールバスの運行経路及び運行時間の変更について

○令和6年3月25日（月曜日）

令和5年度第6回石狩市地域公共交通活性化協議会

1. シン・石狩市公共交通計画（イシカリモビリティ2030）について
2. オンデマンド交通「いつモ」の実証運行について

○令和6年6月6日（木曜日）

令和6年度第1回石狩市地域公共交通活性化協議会

1. 地域公共交通確保維持改善事業に係る計画認定申請（令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請）について
2. オンデマンド交通実証運行について

19. 利用者等の意見の反映状況

- ・地域公共交通活性化協議会には各種団体の他、浜益区民から利用者及び住民を代表する委員に参加いただいております、会議での議論を反映して計画を作成した。
- ・地域からの要望に基づき、浜益厚田間乗合自動車の運賃補助制度を改定し、浜益中学校生徒の部活動に伴う利用に加え、平成30年4月からは浜益小学校児童のスポーツ少年団活動に伴う利用を補助対象としている。

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住所) 石狩市花川北6条1丁目30番地2

(所属) 石狩市企画政策部企画課交通担当

(氏名) 主査 江島 紀和

(電話) 0133-72-3193

(e-mail) ki-kotsu@city.ishikari.hokkaido.jp

注意：本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。(ただし、上記2・3については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります)。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

令和7年度

市区町村名	運送予定者名	運行系統名等 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利便 増進 特例 措置	運送 継続 特例 措置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7・別表9・別表10)			
			起点	経由地 営業区域	終点						運行態様の別	基準ハで該 当する要件 (別表7・9)	補助対象地域間幹線 系統等と接続の確保	基準ホで該当 する要件 (別表7のみ)
石狩市	石狩市	(1) 浜益南北方面	浜益温泉	浜益区	厚田支所	往 km 復 km	192 日	192.0 回			区域運行	①	北海道中央バス(株)札幌厚田線道の駅石狩「あいろーど厚田」及び厚田支所停留所、沿岸バス(株)増毛号浜益区各停留所に接続	③
		(2) 浜益東方面	浜益	浜益区	厚田支所	往 km 復 km	48 日	38.0 回			区域運行	①		③
		(3) 厚田方面	雄冬	浜益区	厚田支所	往 km 復 km	240 日	516.0 回			区域運行	①		③
						往 km 復 km	日	回						
						往 km 復 km	日	回						

(注)

1. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名等」に運賃低廉化を行う運行サービスの名称を記載すること。
2. 区域運行又は乗用タクシーによる運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域又は運賃低廉化対象地域を記載することとし、「起点」、「終点」及び「系統キロ程」について記載を要しない。
3. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
4. 「利便増進特例措置」及び「運送継続特例措置」については、利便増進計画又は運送継続計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9又は別表10)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載すること。
5. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行、乗用タクシーによる運行の別を記載すること。
6. 「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークとどのように接続を確保するかについて記載すること。
7. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名」「利便増進特例措置」について記載を要しない。
8. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。乗用タクシーによる運行の場合は、営業区域を示した地図を添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市区町村名	石狩市
-------	-----

(単位:人)

	人口
人口集中地区以外	12,136
交通不便地域	2,722

交通不便地域等の内訳

人口	対象地区	根拠法
1,638	旧厚田村	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法
1,084	旧浜益村	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画、地域旅客運送サービス継続実施計画の策定年月日及び特例適用開始年度

計画名	策定年月日	特例適用開始年度
シン・石狩市地域公共交通計画 (イシカリモビリティ2030)	令和6年3月25日	令和6年度

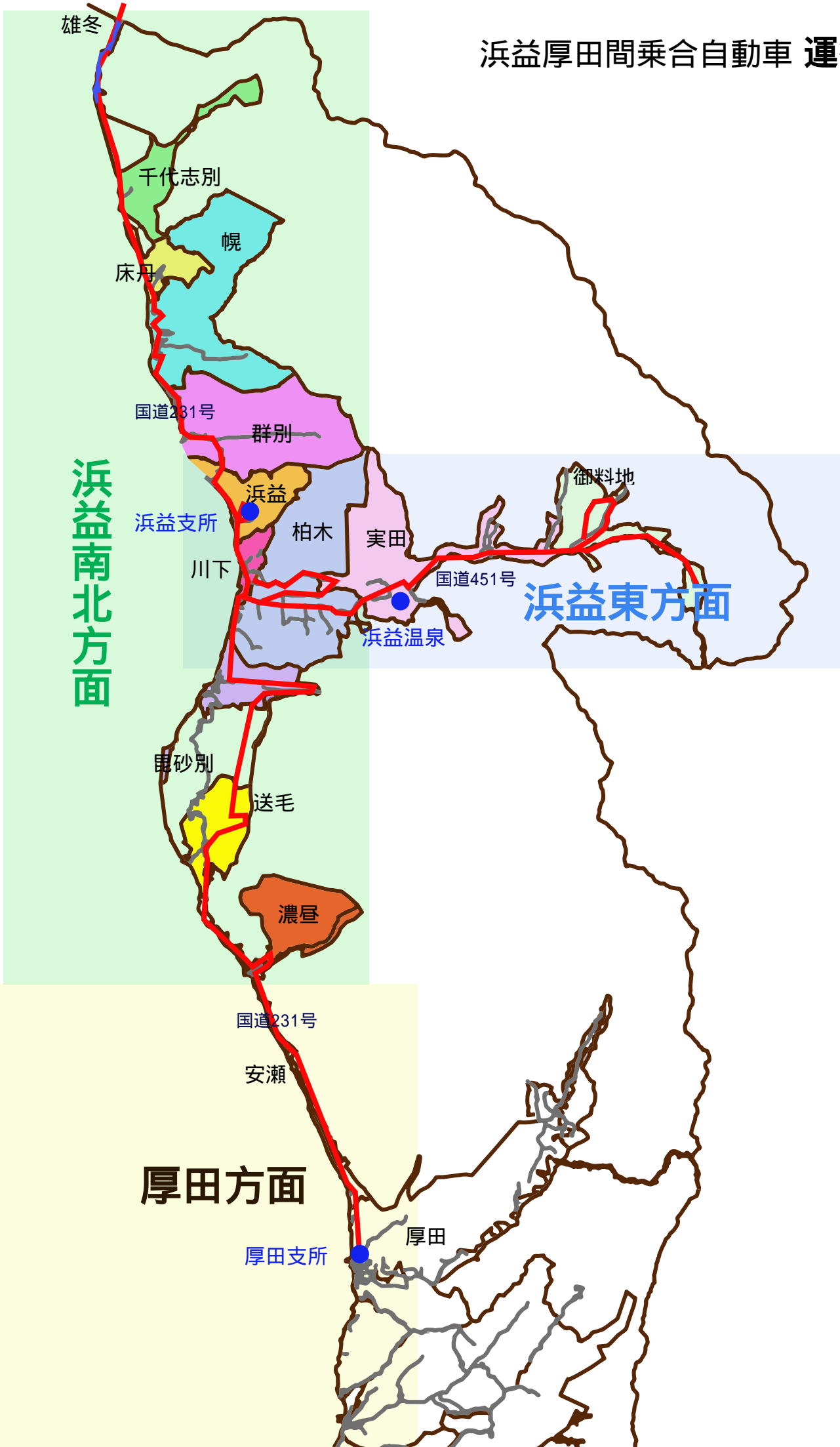
(1) 記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域等」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（以下、「交付要綱」という。）の別表7（ハ②（1））に記載のある過疎地域の人口及び交付要綱別表7（ハ②（2）（実施要領の2.（1）⑪））に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口及び交付要綱別表7リに基づき地方運輸局長等が認める地域の合計（重複する場合を除く）を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が交付要綱別表7（ハ②（1））に掲げる法律（根拠法）に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域等が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。また、乗用タクシー以外での輸送が著しく困難であるものとして地方運輸局長等が認めた場合は、「局長指定（乗用）」と記載すること。
6. 「特例適用開始年度」の欄は、地域公共交通利便増進実施計画又は地域旅客運送サービス継続実施計画を策定し、利便増進特例又は運送継続特例を適用する場合に記載すること。

(2) 添付書類

1. 「人口集中地区以外の地区」及び「交通不便地域等」の区分が分かる地図を添付すること。（ただし、全域が交通不便地域等となる場合には省略可）

浜益厚田間乗合自動車 運行系統図



人口集中地区以外の地区及び交通不便地域の区分図



運行回数・サービス提供時間算定表①

*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。
 (往、復、循環各1回)
 *2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行日数 B		実績運行日数 F		運休回数 (い)-(ろ)=(は)		192.0								
浜益南北方面		計画運行回数 (い) E		実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) I										
				サービス提供時間(リ) 0		運行割合(ろ+に)/(い)=(ほ)										
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休 (-) H	天災*2 I		サービス提供時間					
										時間	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= 0	
6年 10月	月火木金	往	1	17	34.0	50.0%	17.0				時間					
		復	1													
	往									時間 分						
	復															
往									計	※「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間+分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます) ※当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません) ※数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)						
復																
小計			17	34.0	17.0											

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休 (-) H	天災*2 I		サービス提供時間					
										時間	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= 0	
6年 11月	月火木金	往	1	16	32.0	50.0%	16.0				時間					
		復	1													
	往									時間 分						
	復															
往									計	※「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間+分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます) ※当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません) ※数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)						
復																
小計			16	32.0	16.0											

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休 (-) H	天災*2 I		サービス提供時間					
										時間	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= 0	
6年 12月	月火木金	往	1	16	32.0	50.0%	16.0				時間					
		復	1													
	往									時間 分						
	復															
往									計	※「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間+分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます) ※当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません) ※数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)						
復																
小計			16	32.0	16.0											

運行回数・サービス提供時間算定表①

運行系統		計画運行日数 B		192.0	実績運行日数 F			運休回数 (い)-(ろ)=(は)		192.0	*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。 (往、復、循環各1回)												
浜益南北方面		計画運行回数 (い) E		192.0	実績運行回数 (ろ) J			やむを得ない運休回数 (に) I			*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの												
		サービス提供時間(リ)		0	運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)																		
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			実績					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)												
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休(-) H 天災*2 I C+G+H= J			サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O													
7年	1月	往復循環	1	15	30.0	50.0%	15.0																
			1																				
		往復循環																					
		往復循環																					
小計			15	30.0	50.0%	15.0																	
7年	2月	往復循環	1	14	28.0	50.0%	14.0																
			1																				
		往復循環																					
		往復循環																					
小計			14	28.0	50.0%	14.0																	
7年	3月	往復循環	1	16	32.0	50.0%	16.0																
			1																				
		往復循環																					
		往復循環																					
小計			16	32.0	50.0%	16.0																	

運行回数・サービス提供時間算定表①

運行系統		計画運行日数 B		192.0		実績運行日数 F		0		運休回数 (い)-(ろ)=(は)		192.0		*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。 (往、復、循環各1回)			
浜益南北方面		計画運行回数 (い) E		192.0		実績運行回数 (ろ) J		0		やむを得ない運休回数 (に) I		0		*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの			
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	実績				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)		
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E		増便 G	運休 (-) H	天災*2 I		実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O	
7年 4月	月火 木金	往	1	16	32.0	50.0%	16.0					時間					
		復	1														
	往											時間 分					
	復												計				
	往																
復																	
小計			16	32.0	16.0												
7年 5月	月火 木金	往	1	16	32.0	50.0%	16.0					時間					
		復	1														
	往											時間 分					
	復												計				
	往																
復																	
小計			16	32.0	16.0												
7年 6月	月火 木金	往	1	17	34.0	50.0%	17.0					時間					
		復	1														
	往											時間 分					
	復												計				
	往																
復																	
小計			17	34.0	17.0												

運行回数・サービス提供時間算定表①

*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。
 (往、復、循環各1回)
 *2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行日数 B		192.0		実績運行日数 F		192.0		運休回数 (い)-(ろ)=(は)		192.0									
浜益南北方面		計画運行回数 (い) E		192.0		実績運行回数 (ろ) J		0		やむを得ない運休回数 (に) I		0									
		計画		調整後の運行回数		実績		サービス提供時間		備考											
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整% D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1			C+G+H= J	サービス提供時間				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)					
								増便 G	運休 (-) H	天災*2 I		実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N		K+L+M+N= O				
7年	7月	月火木金	往	1	17	34.0	50.0%	17.0					時間								
			復	1									分								
		往																			
		復																			
		往																			
		復																			
		往																			
		復																			
小計			17	34.0	17.0																
7年	8月	月火木金	往	1	16	32.0	50.0%	16.0					時間								
			復	1									分								
		往																			
		復																			
		往																			
		復																			
		往																			
		復																			
小計			16	32.0	16.0																
7年	9月	月火木金	往	1	16	32.0	50.0%	16.0					時間								
			復	1									分								
		往																			
		復																			
		往																			
		復																			
		往																			
		復																			
小計			16	32.0	16.0																
合計			192	384.0	192.0																

運行回数・サービス提供時間算定表②

*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。
 (往、復、循環各1回)
 *2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行日数 B		48.0		実績運行日数 F		38.0		運休回数 (い)-(ろ)=(は)		38.0									
浜益東方面		計画運行回数 (い) E		38.0		実績運行回数 (ろ) J				やむを得ない運休回数 (に) I				サービス提供時間(り) 0		運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)					
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)					
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I C+G+H= J			サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O											
6年 10月	水	往	1	5	10.0	35.0%	4.0														
		復	1																		
		往																			
		復																			
		往																			
小 計				5	10.0		4.0														

※「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間+分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます)
 ※当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません)
 ※数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)					
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I C+G+H= J			サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O											
6年 11月	水	往	1	4	8.0	35.0%	3.0														
		復	1																		
		往																			
		復																			
		往																			
小 計				4	8.0		3.0														

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)					
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I C+G+H= J			サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O											
6年 12月	水	往	1	4	8.0	35.0%	3.0														
		復	1																		
		往																			
		復																			
		往																			
小 計				4	8.0		3.0														

運行回数・サービス提供時間算定表②

*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。
 (往、復、循環各1回)
 *2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行日数 B		48.0		実績運行日数 F		38.0		運休回数 (い)-(ろ)=(は)		38.0		実績運行回数 (る) J		やむを得ない運休回数 (に) I		サービス提供時間(り) 0		運行割合 (る+に) / (い) = (ほ)		備考		
浜益東方面		計画運行回数 (い) E		38.0		計画運行回数 (い) E		38.0		サービス提供時間(り) 0		運行割合 (る+に) / (い) = (ほ)												
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績						備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)												
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I C+G+H= J			サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O														
7年 1月	水	往 1	4	8.0	35.0%	3.0																		
		復 1																						
		往																						
		復																						
		往																						
小 計			4	8.0		3.0																		

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績						備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)												
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I C+G+H= J			サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O														
7年 2月	水	往 1	3	6.0	35.0%	3.0																		
		復 1																						
		往																						
		復																						
		往																						
小 計			3	6.0		3.0																		

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績						備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)												
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I C+G+H= J			サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O														
7年 3月	水	往 1	4	8.0	35.0%	3.0																		
		復 1																						
		往																						
		復																						
		往																						
小 計			4	8.0		3.0																		

運行回数・サービス提供時間算定表②

*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。
 (往、復、循環各1回)
 *2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行日数 B		48.0		実績運行日数 F		38.0		運休回数 (い)-(ろ)=(は)		38.0		実績運行回数 (る)		J		サービス提供時間(り)		0		運行割合 (る+に) / (い) = (ほ)									
浜益東方面		計画運行回数 (い) E		38.0																											
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			運 行 日 数			運 行 回 数 *1			実 績					備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)														
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O																
7年	4月	往	1	4	8.0	35.0%	3.0																								
		復	1																												
		往																													
		復																													
		往																													
往																															
復																															
往																															
復																															
往																															
復																															
小 計				4	8.0		3.0																								

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			運 行 日 数			運 行 回 数 *1			実 績					備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)															
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O																	
7年	5月	往	1	3	6.0	35.0%	3.0																									
		復	1																													
		往																														
		復																														
		往																														
往																																
復																																
往																																
復																																
往																																
復																																
小 計				3	6.0		3.0																									

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			運 行 日 数			運 行 回 数 *1			実 績					備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)															
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O																	
7年	6月	往	1	4	8.0	35.0%	3.0																									
		復	1																													
		往																														
		復																														
		往																														
往																																
復																																
往																																
復																																
小 計				4	8.0		3.0																									

運行回数・サービス提供時間算定表②

*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。
 (往、復、循環各1回)
 *2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行回数 B		実績運行回数 F		運休回数 (い)-(ろ)=(は)		実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) I		サービス提供時間(り) 0		運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)				
浜益東方面		38.0		48.0		38.0												
年月	曜日 区分	片道・循環 回数 A	計 画			実 績						備 考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)						
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I			C+G+H= J	サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O							
7年 7月	水	往	1	5	10.0	35.0%	4.0						時間					
		復	1															
	往復 循環	往												時間				
		復												分				
		往												計				
		復																
小計			5	10.0		4.0												
7年 8月	水	往	1	4	8.0	35.0%	3.0						時間					
		復	1															
	往復 循環	往												時間				
		復												分				
		往												計				
		復																
小計			4	8.0		3.0												
7年 9月	水	往	1	4	8.0	35.0%	3.0						時間					
		復	1															
	往復 循環	往												時間				
		復												分				
		往												計				
		復																
小計			4	8.0		3.0												
合計			48	96.0		38.0												

運行回数・サービス提供時間算定表③

*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。
 (往、復、循環各1回)
 *2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統	厚田方面	計画		実績		計画		実績		サービス提供時間				備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)							
		計画運行日数 B	240.0	実績運行日数 F		計画運行回数 (い) E	516.0	実績運行回数 (ろ) J		運休回数 (い)-(ろ)=(は) 516.0	やむを得ない運休回数 (に) I	サービス提供時間(り) 0	運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)		実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O		
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間			
6年	10月	往	4	17	102.0	35.0%	36.0					時間									
		復	2																		
	水	往	4	5	30.0	35.0%	11.0					時間									
		復	2																		
			往										※「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間+分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます) ※当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません) ※数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)								
			復																		
		往																			
小計			22	132.0		47.0															

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)	
																				実運行時間 K
6年	11月	往	4	16	96.0	35.0%	34.0					時間								
		復	2																	
	水	往	4	4	24.0	35.0%	9.0					時間								
		復	2																	
			往										※「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間+分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます) ※当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません) ※数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)							
			復																	
		往																		
小計			20	120.0		43.0														

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J	時間	時間	時間	時間	時間	時間	備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)	
																			実運行時間 K
6年	12月	往	4	16	96.0	35.0%	34.0					時間							
		復	2																
	水	往	4	4	24.0	35.0%	9.0					時間							
		復	2																
			往										※「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間+分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます) ※当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません) ※数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)						
			復																
		往																	
小計			20	120.0		43.0													

運行回数・サービス提供時間算定表③

*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。
 (往、復、循環各1回)
 *2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行日数 B		240.0		実績運行日数 F				運休回数 (い)-(ろ)=(は)		516.0												
厚田方面		計画運行回数 (い) E		516.0		実績運行回数 (ろ)		J		やむを得ない運休回数 (に) I														
		サービス提供時間(り)		0		運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)																		
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績							備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)											
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I			C+G+H= J	サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O													
7年	1月	月火木金	往	4	15	90.0	35.0%	32.0																
			復	2																				
			循																					
		水	往	4	4	24.0	35.0%	9.0																
			復	2																				
			循																					
小 計				19	114.0		41.0																	

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績							備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)										
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I			C+G+H= J	サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O												
7年	2月	月火木金	往	4	14	84.0	35.0%	30.0															
			復	2																			
			循																				
		水	往	4	3	18.0	35.0%	7.0															
			復	2																			
			循																				
小 計				17	102.0		37.0																

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績							備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)										
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I			C+G+H= J	サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O												
7年	3月	月火木金	往	4	16	96.0	35.0%	34.0															
			復	2																			
			循																				
		水	往	4	4	24.0	35.0%	9.0															
			復	2																			
			循																				
小 計				20	120.0		43.0																

運行回数・サービス提供時間算定表③

*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。
 (往、復、循環各1回)
 *2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行日数 B		240.0		実績運行日数 F				運休回数 (い)-(ろ)=(は)		516.0																	
厚田方面		計画運行回数 (い) E		516.0		実績運行回数 (ろ)		J		やむを得ない運休回数 (に) I																			
		サービス提供時間(り)		0		運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)																							
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績									備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)														
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I			C+G+H= J	サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N					K+L+M+N= O													
7年	4月	月火木金	往	4	16	96.0	35.0%	34.0																					
			復	2																									
			循																										
		水	往	4	4	24.0	35.0%	9.0																					
			復	2																									
			循																										
		往																											
		復																											
		循																											
小 計			20	120.0		43.0																							

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績									備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)														
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I			C+G+H= J	サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N					K+L+M+N= O													
7年	5月	月火木金	往	4	16	96.0	35.0%	34.0																					
			復	2																									
			循																										
		水	往	4	3	18.0	35.0%	7.0																					
			復	2																									
			循																										
		往																											
		復																											
		循																											
小 計			19	114.0		41.0																							

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績									備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)														
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I			C+G+H= J	サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N					K+L+M+N= O													
7年	6月	月火木金	往	4	17	102.0	35.0%	36.0																					
			復	2																									
			循																										
		水	往	4	4	24.0	35.0%	9.0																					
			復	2																									
			循																										
		往																											
		復																											
		循																											
小 計			21	126.0		45.0																							

運行回数・サービス提供時間算定表③

*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。
 (往、復、循環各1回)
 *2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統		計画運行日数 B		240.0		実績運行日数 F				運休回数 (い)-(ろ)=(は)		516.0														
厚田方面		計画運行回数 (い) E		516.0		実績運行回数 (ろ)		J		やむを得ない運休回数 (に) I																
		サービス提供時間(り)		0		運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)																				
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績									備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)											
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I			C+G+H= J	サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O															
7年	7月	月火木金	往	4	17	102.0	35.0%	36.0																		
			復	2																						
			循																							
		水	往	4	5	30.0	35.0%	11.0																		
			復	2																						
			循																							
小 計			往		22	132.0		47.0																		
			復																							
			循																							

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績									備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)										
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I			C+G+H= J	サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O														
7年	8月	月火木金	往	4	16	96.0	35.0%	34.0																	
			復	2																					
			循																						
		水	往	4	4	24.0	35.0%	9.0																	
			復	2																					
			循																						
小 計			往		20	120.0		43.0																	
			復																						
			循																						

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績									備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)										
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I			C+G+H= J	サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O														
7年	9月	月火木金	往	4	16	96.0	35.0%	34.0																	
			復	2																					
			循																						
		水	往	4	4	24.0	35.0%	9.0																	
			復	2																					
			循																						
小 計			往		20	120.0		43.0																	
			復																						
			循																						
合 計					240	1,440.0		516.0																	

	月	火	水	木	金
14:30					
15:00					
15:30	幌 15:20 浜益 15:30	幌 15:20 浜益 15:30	幌 15:20 浜益 15:30	幌 15:20 浜益 15:30	幌 15:20 浜益 15:30
16:00	厚田支所 16:15	厚田支所 16:15	厚田支所 16:15	厚田支所 16:15	厚田支所 16:15
16:30	厚田支所 16:20 道の駅「あいろーど厚田」 16:22	厚田支所 16:20 道の駅「あいろーど厚田」 16:22	厚田支所 16:20 道の駅「あいろーど厚田」 16:22	厚田支所 16:20 道の駅「あいろーど厚田」 16:22	厚田支所 16:20 道の駅「あいろーど厚田」 16:22
17:00	浜益支所 17:05 浜益支所 17:05 道の駅「あいろーど厚田」 17:48	浜益支所 17:05 浜益支所 17:05 道の駅「あいろーど厚田」 17:48	浜益支所 17:05 浜益支所 17:05 道の駅「あいろーど厚田」 17:48	浜益支所 17:05 浜益支所 17:05 道の駅「あいろーど厚田」 17:48	浜益支所 17:05 浜益支所 17:05 道の駅「あいろーど厚田」 17:48
17:30	厚田支所 17:50	厚田支所 17:50	厚田支所 17:50	厚田支所 17:50	厚田支所 17:50
18:00	厚田支所 18:25 道の駅「あいろーど厚田」 18:27	厚田支所 18:25 道の駅「あいろーど厚田」 18:27	厚田支所 18:25 道の駅「あいろーど厚田」 18:27	厚田支所 18:25 道の駅「あいろーど厚田」 18:27	厚田支所 18:25 道の駅「あいろーど厚田」 18:27
18:30	浜益支所 19:10	浜益支所 19:10	浜益支所 19:10	浜益支所 19:10	浜益支所 19:10
19:00	雄冬 19:40	雄冬 19:40	雄冬 19:40	雄冬 19:40	雄冬 19:40

参考
札幌方面幹線バス

参考
浜益方面幹線バス

中央バス札幌厚田線
札幌ターミナル14:40発
厚田支所 16:17着
道の駅「あいろーど厚田」 16:19着

沿岸バスはぼろ号
札幌ターミナル16:10発
厚田支所 17:13着

中央バス札幌厚田線
道の駅「あいろーど厚田」 17:53発
厚田支所 17:55発
札幌ターミナル19:32着

浜益 17:43着
雄冬 18:02着

中央バス札幌厚田線
札幌ターミナル16:50発
厚田支所 18:31着
道の駅「あいろーど厚田」 18:33着